

伊勢湾貧酸素情報も発信

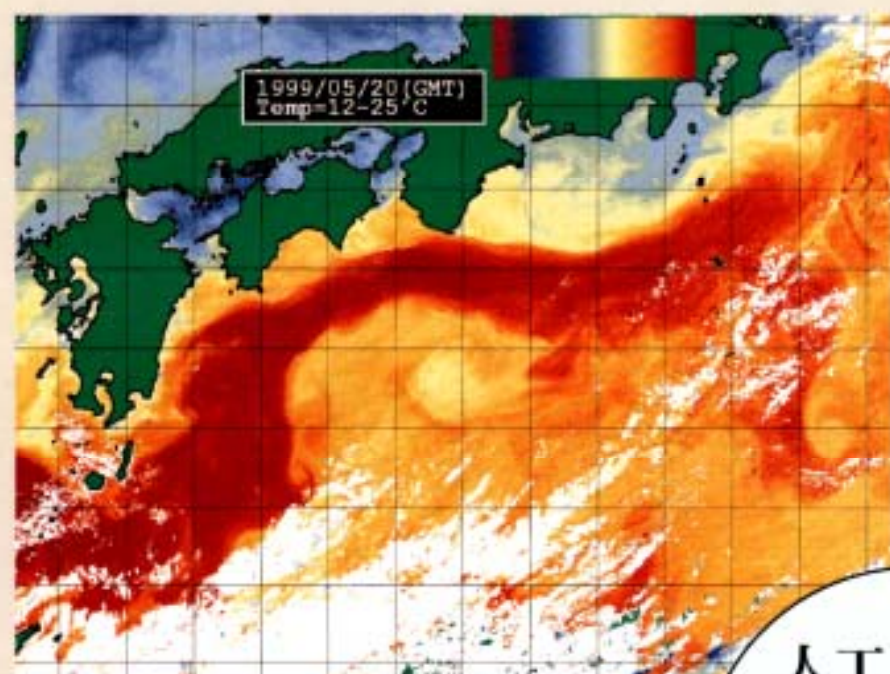
近年夏～秋期に伊勢湾に大規模な貧酸素水域 (DO 3 ppm以下) が発生しつづけている。その分布域情報もファックス通信で発信している。



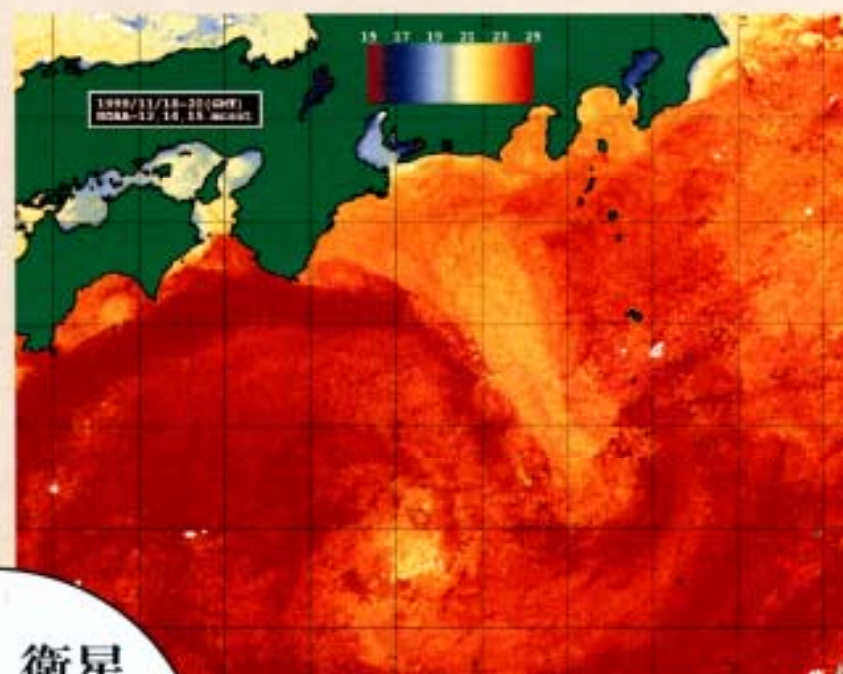
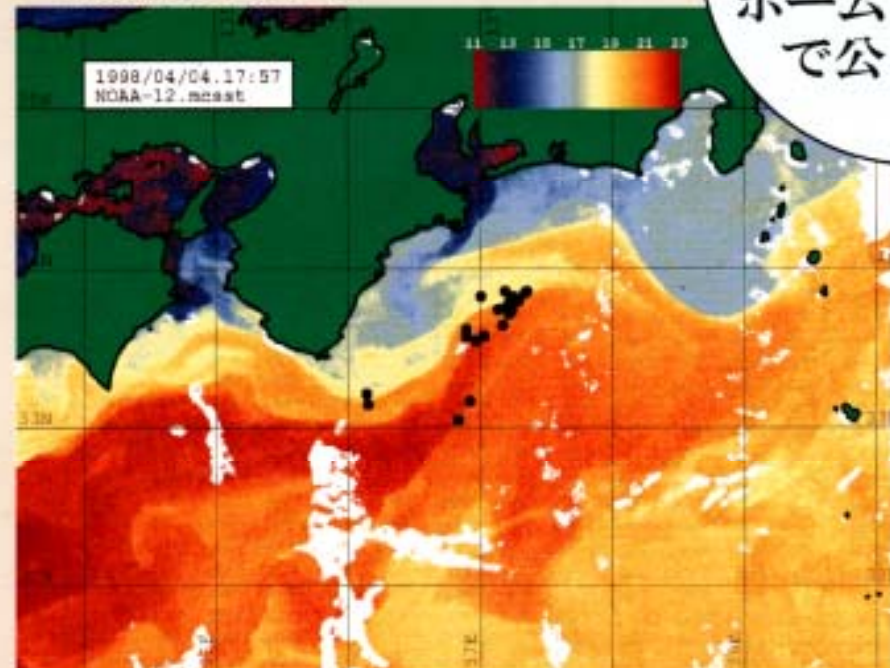
海洋観測調査の結果はこれまで様々な方法により漁業者へ連絡されてきたが、近年、ファックス通信やコンピューターの発達普及により、新しい情報発信の方法が広がりがつつある。またこれらの海況情報は漁業者ばかりでなく、環境保護や海洋レジャーにかかわる人々にも、今後は活用を増やしていくであろう。

平成十一年五月十日、水産技術センターでは、3年前(平成八年六月)から受信していた人工衛星NOAAによる海面水温の分布をホームページを通して、カラー画

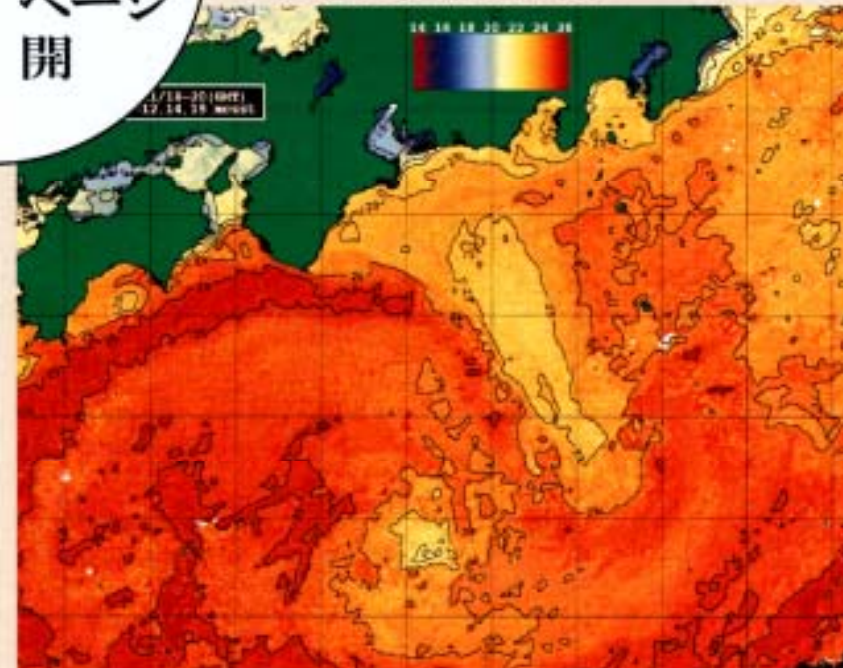
カラーでの海況情報の発信開始



上：黒潮が接近していた1999年5月20日
下：上よりさらに接近しているが沿岸水温は低い。●印はカツオ漁場を示している。



上：蛇行する黒潮1999年11月18～20日
下：上の図に等温線を入れたもの



人工衛星からの情報をホームページで公開

Research Institute of Sea and Coastal Technology Center

センターのページによるこそ

scope Navigator4.0またはInternet Explorer4.0以上で見ることをおすすめ

に関するご意見・お問い合わせは、下記まで
TEL: 05995-3-2225 FAX: 05995-3-2225 TEL: 05995-3-0130, 001

センターの正式名称は「三重県科学技術振興センター水産技術センター」

利用回数の多い水産技術センターのホームページ

漁況速報 (50-1) 2024年4月号

はじめて地図を入れて親しみやすくした「漁況速報 (50-1)」昭和50年4月号

水産技術センターだより

1986年から発行されている「水産技術センターだより」



100周年を期に水産技術センターも公開されるようになった。